

事務事業名	美術博物館活動推進事業		会計	一般会計	実施区分	継続			
H29作成課等名	美術博物館	H29係等名	学芸係	H28担当課等名	美術博物館				
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり						
	施策	27	文化芸術の振興						
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民			対象指標	指標名及び単位	28年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	1 市民の自主的な調査研究活動がさかんになる。 2 多くの市民が美博を訪れ利用するようになる。				圏域住民数	160827		
	向上させたい上位施策の成果指標	1 学習活動をおこなっている市民の割合							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	助成団体の刊行物の発行数(種類)			10	11	10	12	
	成果指標	びはく年間パスポート会員数(人)			310	231	320	182	
定性目標									
事業概要	1 伊那谷の自然と文化研究事業及び学術研究費補助金								
	2 びはく年間パスポート事業								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 自然と文化研究費補助金により市民団体の研究活動を助成				1 助成した団体数		1 3団体		
2 びはく年間パスポートによる来館及び利用の向上 (1)シングル (2)シングルプラス (3)ファミリー結い				2 パスポート会員数		2 182人			
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		624	602	459	0	(そ)財産収入 3千円 (そ)寄附金 10千円 (そ)諸収入 320千円			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		496	602	333					
一般財源		128		126					
人件費計(千円)②		0	0	0	0				
正規職員所要時間									
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		624	602	459	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り		パスポート会員は目標会員数を下回った。 学術研究補助金は3団体(柳田國男記念伊那民俗学研究所・伊那谷自然友の会・伊那谷研究団体協議会)に交付した。 助成団体の刊行物等:「伊那民俗」4・「伊那民俗研究」1・「伊那研叢書」1・「伊那谷の自然」6							
改革改善の考え方	①問題点	パスポート会員の新規申し込み者数が増えない。							
	②改革提案	パスポートを3種類にし利便性が高まったこと、会員の特典などをPRし新規会員の増加と会員継続の働きかけを強める。また、パスポート更新が簡単にできるような仕組みを検討する。							